

毎年、前年度の取り組み(安全目標、安全重点施策)を振り返ることでその成果と課題を明確にします。そして、当年度の取り組みを決定していきます。

## (1) 安全目標 (2022年度)



# 重大事故の撲滅

## (2) 安全重点施策 (2022年度)



- ①. 安全態勢の強化
- ②. 安全態勢を支える人材作り
- ③. 安全輸送に関する設備投資

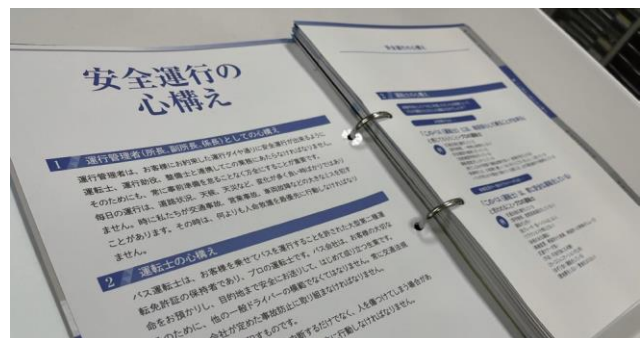
## (3) 安全重点施策の実行



### ① 安全態勢の強化

#### (I) 事故防止

運転士の心構えや基本業務は「運転業務作業標準」に定めており、これに従い業務を行います。その中でも、運転操作の基本となる「重大事故撲滅5項目」は乗務に際して最も重視している安全の確実行動です。また、期首には「安全目標」と「安全重点施策」を定めこれを周知し計画的に各事故防止策を取り組んでいます。



運転業務作業標準

### 1 発車の操作

- ①全ての発車時、指差確認呼称「左・前よし、右よし、車内よし、発車します」を行う。

### 2 交差点での操作

- ①黄色信号時の進入は絶対厳禁する。  
(歩行者信号点滅時は速度を緩め、停車の準備をする。)
- ②全ての右折時には、交差点中心で必ずアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルに足を置き一旦停車した後、安全確認し、徐行(10 km 以下)して進行する。(矢印信号は除く)
- ③全ての左折時には、ハンドルを切る手前で必ずアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルに足を置き一旦停車した後、安全確認し、徐行(10 km 以下)して進行する。(矢印信号は除く)

### 3 横断歩道での操作

- ①横断歩道を知らせる一つ目の道路標示位置(50m手前)で、歩行者の有無を確認し「歩道よし」と呼称する。
- ②横断歩道に進入する前には、必ずアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルに足を置く。

### 4 車間距離の操作

- ①走行中は、最低バス1台(10 m)以上の車間距離を確保する。
- ②停車中は、前車のナンバープレートが確認できる(2m以上)車間距離を確保する。

### 5 危険を予知した時の操作

- ①すぐに(1m)停車できる速度で徐行を行う、または一旦停車する。

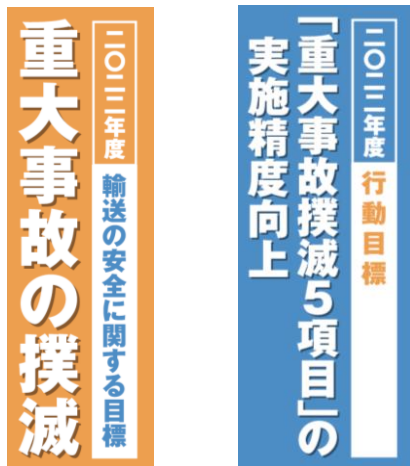


#### われわれの誓い

人の命は尊いものです。  
われわれが使用するバスはその取り扱いを誤ると、利用していただくお客様や通行する人々に危害を加えてしまいます。ときとして、われわれのそのミスが人の命を奪うことにもなりかねません。だから、どうしてもミスをなくさなくてはならないのです。そのためにわれわれ全員が、防衛運転確立の手段である「重大事故撲滅5項目」を自分の身体に覚えこませ、いついかなるときもミスを防ぎます。一日の仕事を始めるにあたって、いつもこの気持ちをもたなければなりません。

平成19年4月制定

● 事故防止目標ポスター



輸送の安全に関する目標と行動目標についてポスターを作成し各営業所に掲示しています。

● 安全カード



運転士と所長・統括運行管理者とのコミュニケーションツールとして活用しています。

● リボン





## (II) 運行管理

### ● IT点呼

運行管理者が行う「点呼」「運行管理」は安全輸送の最重要な業務です。その運行管理者の業務を支援すべく、当社では2017年3月より「点呼支援システム（通称：IT点呼）」と2018年3月より「バスロケーションシステム」を導入しています。運行管理にITを連携させることで、安全性を更に向上させています。

#### ①概要

| 目的        | 設置機器                              | 内容  |
|-----------|-----------------------------------|---|
| 出退勤状況の確認  | 大型表示器                             | 大型モニターに出勤（退勤）時間等を表示する事で運転士に点呼状況を共有し、ミスを防ぎます。  |
| 厳正な点呼     | 静脈認証装置<br>アルコール検知器<br>免許証リーダー     | 静脈認証とアルコール検知器（記録画像付）を併用することで、確実に厳正な点呼を行い、出退勤の時間が各種機器により自動で記録されるため、点呼簿への記入などの作業が無くなるると同時に記入漏れが無くなります。また、アルコール検知時に免許証所持確認を行い、免許情報により有効期限切れを防止します。 |
| 健康状態の確認   | 問診用タブレット<br>体温計（非接触型）<br>血圧計（通信型） | 乗務の可否を判断する際に必要な運転士の体調については、タブレットによる問診・体温測定・血圧測定により客観的に判定する為、体調不良者を乗務させる事が無くなります。また、全員の健康意識の向上が期待出来ます。   |
| セキュリティの強化 | ICタグ<br>ICリーダー                    | ICタグ、ICリーダーで、車両の鍵と金庫の持ち出し・返却管理を行う事で、セキュリティの強化を図ります。   |

#### ②出勤状態の可視化

大型モニターを使用することで、出勤状態を営業所内で可視化することが出来るようになりました。

| 出発  | 状況 | 車番   | ダイヤ | 出勤    | 名前 | ALC  | 健康 | 鍵 | 金庫 | 点呼 |
|-----|----|------|-----|-------|----|------|----|---|----|----|
| 西久保 | 中間 | 208  | P04 | 11:26 |    | あと3分 | -  | - | -  | -  |
| 西久保 | 出勤 | 417  | C01 | 11:28 |    | あと5分 | -  | - | -  | -  |
| 折戸  | 中間 | 301  | C18 | 11:32 |    | あと9分 | -  | - | -  | -  |
| 包原  | 中間 | 2976 | E02 | 11:35 |    |      | -  | - | -  | -  |
| 西久保 | 中間 | 556  | C58 | 11:36 |    |      | -  | - | -  | -  |
| 水旗部 | 中間 | 498  | C17 | 11:42 |    |      | -  | - | -  | -  |
| 西久保 | 中間 | 789  | A18 | 11:46 |    |      | -  | - | -  | -  |
| 西久保 | 中間 | 340  | A04 | 11:51 |    |      | -  | - | -  | -  |

モニター



点呼風景

### ③ 厳正な点呼

点呼時に運転士が静脈認証を行う事で、各種検査結果が点呼用画面に表示され、確実に厳正な点呼が行えます。(最大5人まで点呼可能)



静脈認証装置



点呼者用画像表示

アルコール検知時に免許証所持確認を行い、免許情報により有効期限切れを防止します。



アルコール検知時に免許証所持確認を行い、免許情報により有効期限切れを防止します。

#### ④健康状態の確認

国土交通省で作成した「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」に基づいた、タブレットによる問診・体温測定・血圧測定を行う事で、日々の運転士の健康状態を客観的に確認する事により、「健康起因による事故」を防止します。



「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」に沿った問診



血圧計（通信型）

| 乗務可否基準    |                          |
|-----------|--------------------------|
| タブレット問診内容 | 「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」参考 |
| 体温        | 当社基準値にて設定                |
| 血圧        |                          |

※体温・血圧数値は当社基準による  
 ※血圧測定は健康診断で高血圧と診断された対象者が実施

#### ⑤セキュリティの強化

車両の鍵と金庫については、各保管場所に設置したICリーダーに運転士が所持しているICカードと鍵・金庫に装着しているICチップを読み込ませる事で、持ち出し・返却管理を行い、セキュリティの強化を図ります。



ICカード・ICカードリーダー



ICタグ（鍵）



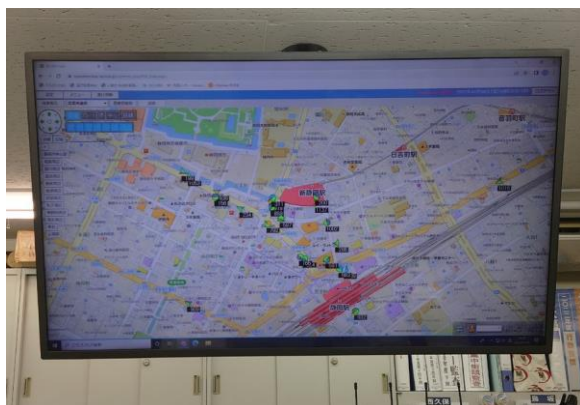
金庫リーダー

## ●バスロケーションシステム

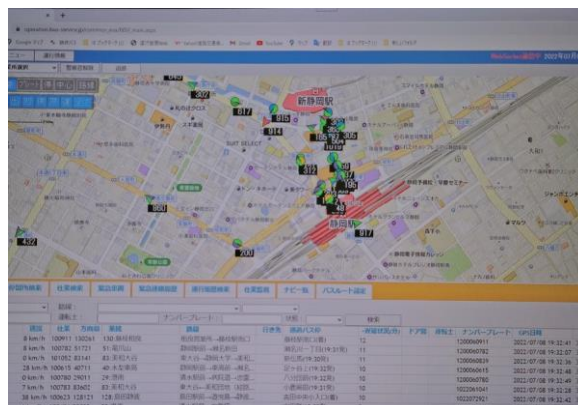
- ①バス位置情報
- ②遅延状況の把握

「バスロケーションシステム」を導入した事で、リアルタイムでバスの位置情報を把握することが出来るようになりました。

また、道路渋滞などにより発生する遅延状況もモニターで確認することが出来るようになり、運行管理は向上しました。



バス位置情報



遅延情報

- ③運行経路の間違い防止

運行経路間違いを防止する行先案内表示が運転席にある「電子スターフ」に表示されます。



運転士の電子スターフ



## (Ⅲ) 健康管理

安全運行の基本は社員ひとり一人の健康管理からです。近年、全国的に健康を起因とする事故が発生しています。当社では法定の健康診断以外にも様々な体調管理に取り組んでいます。

- 脳ドック、人間ドック

疾病の予防や早期発見、生活習慣の見直しのための取り組みとして、人間ドックや脳ドックを定期的に行っています。



- 睡眠時無呼吸症候群

当社では、SASの早期発見のため、全運転士を対象に3年毎にスクリーニング検査を行っています。



- 感染症対策

インフルエンザの予防接種は毎年実施しております。また新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化する中、公共交通事業者として、お客様と社員の命を守り、計画した運行を維持すべく、日本バス協会のガイドラインに従い感染防止に細心の注意を払っています。



## (Ⅳ) 会議

定期的に行われる各種会議において、各施策の進捗や課題を常に確認し、早期に改善できる体制を構築しています。

- ・ 経営連絡会議 . . . . . 年12回
- ・ 営業所長会議 . . . . . 年12回
- ・ 本部事故防止委員会 . . . . . 年12回
- ・ 支部事故防止委員会 . . . . . 各営業所月1回程度
- ・ 整備管理者会議 . . . . . 年12回
- ・ 静鉄グループ運輸安全マネジメント委員会 . . . . . 年1回



支部事故防止委員会



本部事故防止委員会



## (V) 職場巡視

経営トップ、安全統括管理者は、毎月運行営業所を巡視することで双方の意見交換を行い綿密な安全管理体制を確認しています。

- ・ 経営トップによる職場巡視（毎月1回程度）  
毎月1回各営業所へ訪問し、運輸安全マネジメントに対する取組み状況確認や現場部門での問題点を共有しています。
- ・ 安全統括管理者による職場巡視（毎月1回程度）  
毎月1回各営業所へ訪問し、現場部門での問題点を共有しています。



職場巡視

## (VI) 新たな取り組み（車検）

### ● 「車検整備」の開始

相良営業所の整備工場は2021年5月国土交通省・中部運輸局より「指定自動車整備事業」として指定されました。相良営業所・浜岡営業所所属車両の車検を行っております。



検査風景

## ② 安全態勢を支える人材作り

### (I) 人材確保（採用活動）

バス輸送の根幹を支える運転士。

バス業界の最大の課題は、運転士不足です。

当社ではこの課題を解消すべく様々な採用活動に取り組んでいます。

#### ● 各種支援制度

- ・ 大型 2 種免許取得支援
- ・ 充実の教育

（専用コースで技能に応じた教育プログラムをベテラン教官が指導）

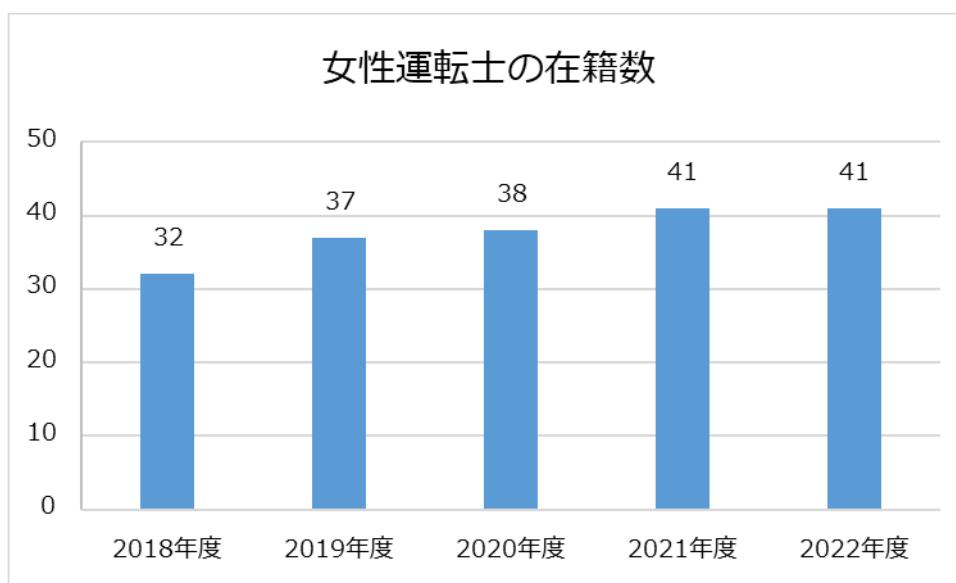


#### ● 女性の人材確保

当社では約40名の女性運転士が活躍しています。

その在籍率は全運転士の5%となり、業界平均（2%）を大きく上回ります。

女性が安心して働ける環境整備と教育に力を入れています。





女性用トイレ



女性用休憩室

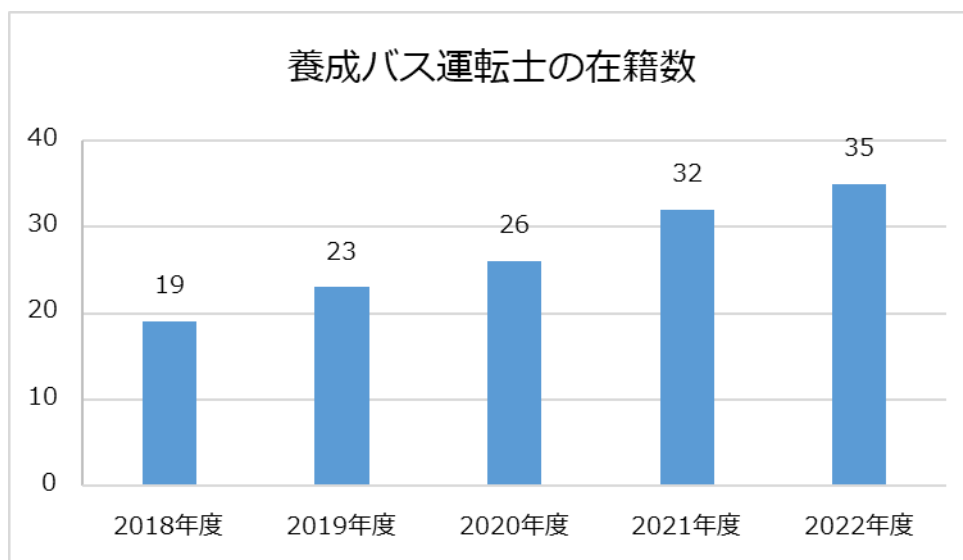
## (II) 育成

### ● 養成バス運転士

当社ではバス運転士を希望する全国の高校生、専門学校生の新卒採用に力を入れています。特に「養成バス運転士」制度は、バス運転士に必要な免許である大型2種免許を取得できるまでの期間を、運転士以外の職種（事務や整備、窓口係）として働きながら、運転教習などの研修を通し、バス運転士に関する専門知識や技術を学びます。

### ● 運輸基幹職

運輸基幹職は、大学生の新卒者がさまざまなキャリアステップを自ら選択していくことができる職種です。約5年間の運転士のキャリアを積んだ後は運行管理の業務や管理部門で運転経験を活かしたダイヤ作成や安全対策を検討するなどあらゆる場面で力を発揮することが可能な職種です。



研修風景(運転訓練)



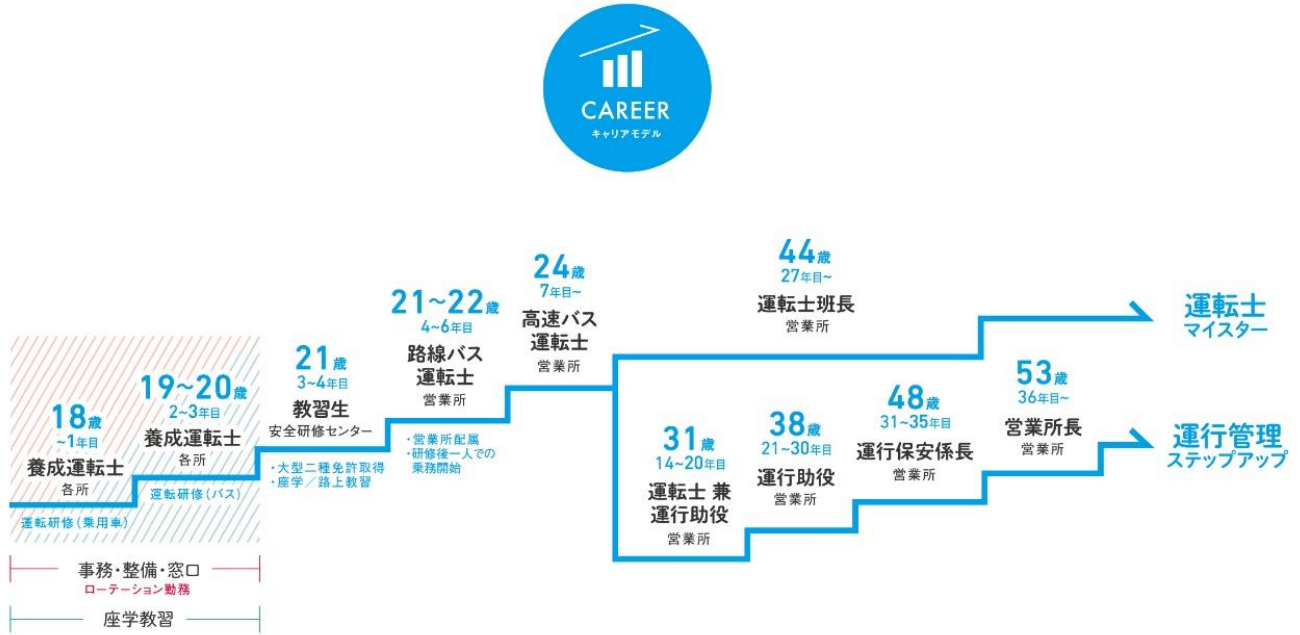
研修風景(整備)



研修風景(事務)



# 養成バス運転士キャリアモデル



# 運輸基幹職キャリアモデル



●バス体験乗車会

当社では、採用活動の一環として定期的に「バス体験乗車会」や「会社説明会」を開催し、バス運転士の仕事の魅力（楽しさ、やりがい）を紹介しています。



●TVCMの放映



### (Ⅲ) 研修

研修は、社員の年齢・勤続・職務内容・職務経歴・役職に応じて計画的に実施しました。

#### ・運転士

| 区分        | 対象者      | 教育内容                             | 対象回数 | 受講者<br>延べ人数    |
|-----------|----------|----------------------------------|------|----------------|
| 乗務<br>年数別 | 1年未満     | 運転技能、接客接遇の確認                     | 1回   | 28名            |
|           | 2年未満     | 運転技能、接客接遇の確認                     | 1回   | 16名            |
|           | 10年目     | 接客接遇の向上、運転死角<br>身体障がい者講師による車いす教習 | 1回   | 10名            |
|           | 15年目     | 接客接遇の向上、運転死角<br>身体障がい者講師による車いす教習 | 1回   | 5名             |
|           | 20年目     | 接客接遇の向上、運転死角<br>身体障がい者講師による車いす教習 | 1回   | 10名            |
|           | 36ヵ月毎    | 適性診断と運転技能教習（安全運転訓練車）             | 1回   | 212名           |
| 年齢別       | 60歳以上    | 技能確認教習（安全運転訓練車）                  | 1回   | 67名            |
| 業務/役職別    | 高速/貸切運転士 | 救急救命講習                           | 1回   | 51名            |
|           |          | 雪上訓練                             | 2回   | 19名            |
|           | 運転士班長    | 班別事故防止への取組                       | 2回   | 44名            |
| 全運転士      | 全運転士     | 危険予知教習<br>（ドライブレコーダーを用いた教習）      | 3回   | 全運転士<br>（540名） |
|           |          | 重大事故振り返り教習                       | 7回   | 全運転士<br>（540名） |
|           |          | 運転業務作業標準を用いた運転操作<br>及び接客教習（ZOOM） | 3回   | 全運転士<br>（540名） |
|           |          | 外部機関による運転技能向上                    | 1回   | 15名            |
|           |          | マイクアナウンス研修                       | 1回   | 5名             |



・運転士以外

| 区分     | 対象者                     | 教育内容                                 | 対象回数 | 受講者<br>延べ人数 |
|--------|-------------------------|--------------------------------------|------|-------------|
| 職種別    | 養成運転士（1年目）              | 運転業務作業標準を用いた基礎教習<br>自動車学校コースを用いた実技教習 | 24回  | 4名          |
|        | 養成運転士（2年目）              |                                      | 26回  | 6名          |
|        | 養成運転士（3年目）              |                                      | 25回  | 4名          |
|        | 初任統括運行管理者               | 法令教習、統括運行管理者の実務教習                    | 1回   | 1名          |
|        | 運行管理者                   | 法令改正説明、実務教習                          | 2回   | 34名         |
|        | 整備士                     | 整備主任者技術研修                            | 1回   | 36名         |
|        |                         | 整備主任者研修（法令）                          | 1回   | 24名         |
|        |                         | 事業場管理責任者研修                           | 1回   | 1名          |
|        |                         | 自動車検査員研修                             | 1回   | 4名          |
|        |                         | 整備管理者技術研修                            | 1回   | 9名          |
|        |                         | 低圧電気取扱業務特別教育                         | 1回   | 24名         |
|        | タイヤ空気圧充てん業務の作業者に対する安全教育 | 1回                                   | 1名   |             |
| 本社管理部門 | 運輸安全マネジメント研修            | 1回                                   | 156名 |             |



危険予知講習



マイクアナウンス研修



整備主任者技術研修



技能確認講習（安全運転訓練車）



作業標準教習（WEB）



救急救命講習

#### (IV) 訓練 (外部との連携訓練)

訓練は実践を想定して行っており、近年では災害リスクが高いと想定される「地震・津波」発生時の初動訓練を強化しています。

##### ●総合防災訓練の概要

###### ①目的

地震・津波発生時の迅速な避難行動・旅客誘導の強化及び防災意識の向上

###### ②想定

南海トラフ巨大地震が県内の広い範囲で発生し、沿岸部を中心に津波が押し寄せ、当社の営業エリア全域に甚大な被害が発生

###### ③訓練内容

- ・避難行動 (津波ハザードマップにより避難先の確認)
- ・旅客誘導 (走行中の一時停車と車内アナウンスの実施)
- ・情報伝達 (安否確認システム、無線の使用)
- ・消火活動 (火災時の消火)
- ・発電 (災害対策車を活用した電源確保と発電機を用いた無線起動訓練)

###### ④実施日

・2022年 9月 1日      ・2022年11月 25日      ・2023年 3月 9日



消火器訓練



非常扉訓練



発電機訓練

#### 〈外部機関との連携訓練〉

日本坂トンネル防災訓練・施設説明会

中日本高速道路株式会社が主催の訓練・説明会に参加



日本坂トンネル防災訓練



施設説明会



## (V) 発表会

運転士の運転技術・安全意識の向上とプロ意識の醸成を目的に、毎年競技会を開催しています。

### ● 静鉄バスドライバーズコンテスト（第5回）

①日時 2022年11月 5日（土）

②会場 安全研修センター（サブコース）

③競技種目

- ・ 始業点検
- ・ 車イス
- ・ タコつぼ
- ・ 方向転換
- ・ 隘路進入
- ・ 鋭角
- ・ 直進障害
- ・ 幅寄せ

④競技方法

各営業所の代表者が日頃の成果を競います。



出場者集合写真



優勝者



方向転換



隘路進入



鋭角



直進障害



● 静岡県バス協会 バスドライバーズコンテスト（第1回）

（社）静岡県バス協会の主催で協会会員12社から各1名が参加し運転技術を競いました。

①日時 2023年2月 19日（日）

②会場 安全研修センター

③競技種目

- ・タコつぼ
- ・縦列駐車
- ・直進障害
- ・方向転換
- ・鋭角



県バス協会ドライバーズコンテスト風景

当社からはドライバーズコンテスト優勝者が参加し、総合優勝できました。

## (VI) 新たな取り組み

当社では、社員が自社のありたい姿や仕事の価値観を共有するために2019年度に組織ビジョンを作成し研修を通じて社員に浸透させてきました。

今年度につきましては、組織ビジョン「矜持を胸に、私たちみんながこの街で幸せになるために」の実現のため、業務の中でこれまで当たり前であったことへの“新しい気づき”にチームで取り組むことで業務改善を通じて職場の活性化や各自の成長、達成感を感じられる状態をゴールとしました。

来年度以降も組織ビジョンの実現に向け取り組んでいきます。

Communication Message 25 | 会社からのメッセージ:25

### JIP'22成果発表会の開催



1月10日にグランシップにてJIP'22成果発表会を開催しました。  
当日は、本社部門、整備部門、運転士部門、運行事務部門の総勢33チームの中から予選会を勝ち抜いた10チームによる、熱心なプレゼンテーションが繰り広げられました。

#### ○総合賞

##### 《最優秀賞》相良運転士チーム

テーマ:雨天時の視認性向上

##### 《優秀賞》輸送計画室

テーマ:ダイヤ編成システム改修に向けた課題の洗い出し

##### 小鹿・丸子整備チーム

テーマ:若手の技術向上と作業の平準化

#### ○特別賞

##### 《リブ賞》西久保運転士チーム

テーマ:安全カード運用方法変更



#### 【取り組みの目的とゴール】

取り組みの目的は、組織ビジョン「矜持を胸に、私たちみんながこの街で幸せになるために」の実現です。  
業務の中でこれまで当たり前であったことへの「新たな気づき」にチームで取り組み、業務改善を通じて職場の活性化や各自の成長、達成感を感じられる状態をゴールとしました。

#### 【成果発表会について】

皆さんが職場や仕事に真摯に向き合う姿勢が伝わってきました。  
この経験から得たものは皆さんの宝です。まずは一步を踏み出すことが出来ました。  
また、他チームの発表から、自分達もやってみよう、定着させていくにはどうしたら良いのだろうかといった課題等、新たに学んだことも多かったと思います。  
より良くしたいという思いが広がっていくことや、仕事や職場の中で充実感や成長実感の手応えを感じることは、皆さんの幸せの実現に必要なプロセスです。  
組織ビジョン「矜持を胸に、私たちみんながこの街で幸せになるために」の実現に向けて、共に取り組んでいきましょう。



静鉄バスの  
ムービーが  
見られます。

取締役社長 三浦 孝文

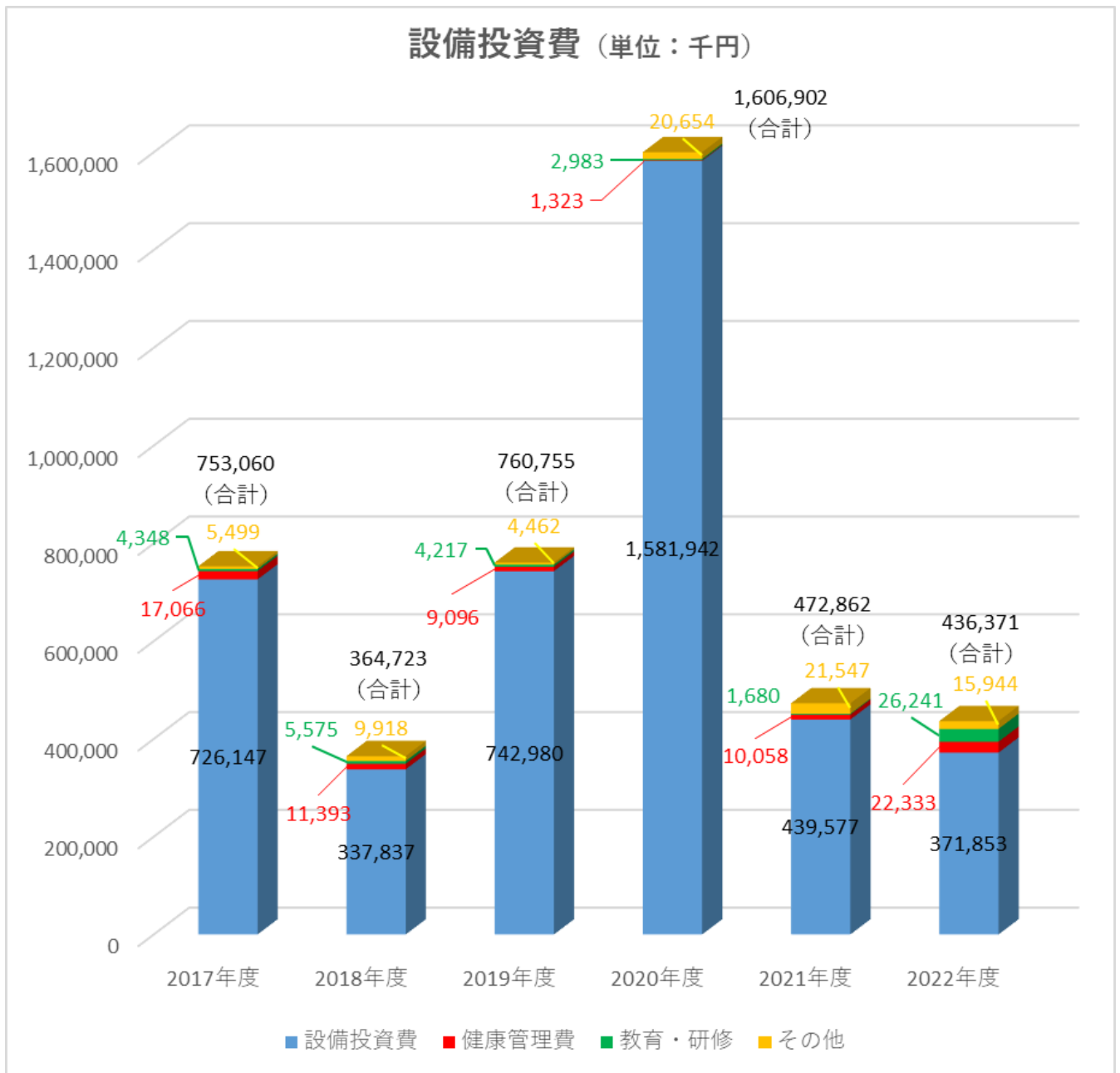


インナーコミュニケーション

### ③ 安全輸送に関する設備投資

#### (I) 2022年度の実績

2022年度の設備投資に関する主な実績は次のとおりです。





## (4) 安全重点施策の実施に関する検証



### ① 会議

以下の会議にて、安全目標に対する達成度と安全重点施策の進捗管理と効果検証（問題点の洗い出し等）を行います。

- ・本部事故防止委員会 年12回
- ・整備管理者会議 年12回
- ・運輸安全マネジメント委員会 年 4回
- ・静鉄グループ運輸安全マネジメント委員会 年 1回

### ② 監査

- ・点呼監査 始業点呼が厳正に行われているか確認（年12回）
- ・乗務監査 乗務中の重大事故撲滅5項目の精度を確認（随時）
- ・街頭監査 交差点における、重大事故撲滅5項目の確認及び操作精度と道交法遵守の確認（年12回）



街頭監査



点呼監査

### ③ 内部監査

安全管理体制の構築・改善における取り組みの適合性および安全管理体制の有効性の確認を定期的に行い、経営トップと安全統括管理者に報告します。

- ・監査人 （総務部総務課）
- ・被監査対象 （経営トップ、安全統括管理者、安全運行統括部、営業所）
- ・年間2回 （1月、2月）

#### ④外部機関による調査

- (Ⅰ) 目的
- ・ 自社運転士の運転操作・接客接遇等の現状把握
  - ・ 他社との比較を行うことによるレベル感、強み・弱みの把握
- (Ⅱ) 委託業者
- 株式会社南海リサーチ&アクト
- (Ⅲ) 委託内容
- 運転操作・接客接遇等乗り込み調査および他社比較分析
- (Ⅳ) 比較会社
- 当社含む5社
- (Ⅴ) 調査方法
- 1社約30台前後に乗車し運転・接客調査を実施。

調査結果を生かした今後の取組への活用

- ・ 調査結果を踏まえた運転環境の改善
- ・ 接客接遇標準の策定
- ・ 今後の指導・教育への活用

年度末に安全目標及び安全重点施策に関する「評価」を行います。そして、「改善」を行いながら次年度の「計画」を策定していきます。

### ① 安全目標（2023年度）

## 人身傷害事故の削減

### ② 安全重点施策（2023年度）

#### I. 安全態勢の強化

- ・ 重大事故撲滅5項目の精度向上
- ・ 運行管理の強化
- ・ 改善基準改定に伴う働き方の見直し

#### II. 安全態勢を支える人材作り

- ・ 人材の確保
- ・ 教育プログラムの改訂
- ・ 指導力の向上

#### III. 安全輸送に関する設備投資

- ・ デジタコ・ドラレコの更新
- ・ 先進車両の導入による運転士負担軽減
- ・ 中期計画に沿った営業所設備の新設、運用方法の検討